

## 秋葉区・山の手地区住民バス社会実験運行計画(変更)(案)に対するご意見について

No.	ご意見	対応
1	<p>今回の案に賛成いたします。今後も、利用者、住民の意見を生かした取り組みの実践をお願いいたします。</p> <p>利用実績を上げるために、住民バスの取り組みについて、マスコミを活用してPRするのも一つの方法と考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミの活用も含めて、利用者、地域の方々の声を聞きながら、継続して運行できる住民バスとなるよう、引き続き検討していきます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延伸要望数及び延伸後の収支改善予測</li> <li>・ どれくらいの住民からの意見を踏まえて今回変更するのですか？どれくらいの増加が見込まれるのでしょうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在住民バスを利用されているお客様、運行主体である山の手地区住民バス運行委員会（各地区からの代表）、小須戸商工会からの要望を受け、山の手コミュニティ協議会幹事会（山の手地区全町内会長の会議）で今回の変更を決定したと聞いております。</li> <li>・ 来年度も社会実験を継続するために必要な収支率は約13%ですが、現在残念ながら達していないので、改善が見込める変更を行うとともに、今回の延伸でどのくらい利用者が増加するかを検証したいというコミュニティ協議会のご意向です。</li> </ul>
3	<p>新しい運行ガイドやバス通信を山の手地区、小須戸地区に全戸配付とありますが、全戸数はどれくらいですか。それだけでも経費がかかると思うのですが・・・。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行ガイドは、山の手地区に約1,300部、小須戸地区に約1,800部配付予定です。</li> <li>・ ご指摘のとおり、今回の変更に伴い、運行ガイドの印刷費などの経費が必要になりますが、コミュニティ協議会が、「地域の茶の間」をはじめ、高齢者クラブ、町内会の総会等で住民バスの利用促進を呼びかけるための説明をすると、住民バスの存在や、社会実験の制度をご存じない方がいまだに多くいると言います。</li> <li>・ 経費分の運賃収入があることが理想ですが、まずは、この住民バスの取り組みを知っていただき利用者を少しでも増やすこと、また、高齢者の交通事故防止の観点からも、一人でも多くの方が、秋葉区の公共交通について自分のこととして考えていただくために、運行ガイドは両地区に全戸配付する予定です。</li> </ul>

4	<p>利用者の意見を取り入れつつ、今回が4回目の変更になるにも関わらず、なかなか利用者増に結びつかないのは、根本的に住民の意思とは違う運行内容なのではないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の手地区住民バスの運行計画は、社会実験を開始する前の平成29年度に、山の手地区の中学生以上全員を対象としたアンケート調査の結果をもとに作成したもので、4回の計画の変更も、その都度、利用者や地域の声を踏まえたものです。</li> <li>・住民バスは「地域住民の最低限の生活交通（病院、通学、買い物等）の確保」のためにありますが、現状では、自家用車に頼り「今後は住民バスを使いたい、今は必要ない」という住民が多く、住民バスの利用につながっていないと思われまます。</li> <li>・また、社会実験を始めて1年が経過したばかりということで、前述のとおり、住民バスの社会実験についてご存じない方が多いことから分かるように、公共交通として定着していないことも考えられます。</li> </ul>
5	<p>山の手地区と矢代田駅を結ぶのが住民バス運行開始時のコンセプトと認識しております。しかしながら、当該路線は山の手地区と矢代田駅及び小須戸地区を結ぶ路線となっており、路線バスと実質的に競合しております。住民バスの小須戸地区への延伸は路線バスへの更なる影響があります。</p> <p>秋葉区内は、区バス・住民バス・路線バスが混在しており互いに競合している区間があります。運転士不足の中で路線バス運行継続も極めて厳しい状況にあります。</p> <p>より効率的な運行を図るためにも、今後の秋葉区内路線の区バス・住民バス・路線バスのあり方等を検討する会議の開催を強く要望いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この住民バスは、山の手地区と矢代田駅を結ぶことも目的のひとつではありますが、当初から、小須戸地区への高齢者の買い物・通院、冬季の中学生の通学を主な目的として運行しています。</li> <li>・路線バス、区バスと経路が重複する部分もありますが、両路線が走っていない山の手地区の山間部の住民の上記移動ニーズに対応したもので、対象者が違うため、競合ではなく、両路線と併せ利便性の向上に寄与すると考えています</li> <li>・また今年度、「秋葉区生活交通改善プラン」の見直しをすることにしております。</li> <li>・持続可能な交通環境の実現のため、秋葉区地域公共交通検討会議でご検討いただくもので、検討会議には、当意見交換会の委員の皆様のほか、秋葉区自治協議会委員、山の手地区住民バス運行委員会にご協力いただく予定です。</li> <li>・ご指摘の、秋葉区内の「より効率的な運行を図るため」、皆様からご意見を頂戴いたしたく、よろしく願いいたします。（初回開催は、9月の予定です。別途ご案内いたします。）</li> </ul>